

田中研新聞

第27号

2015年
11月1日発行

2015年11月1日号

甲南大学知能情報学部田中研究室 毎月発行
http://carnation.is.konan-u.ac.jp
編集長：岡田 航大 (B4)
編集委員：吉岡 一樹 (M2)

秋のオープンキャンパスでシステム展示

今年のオープンキャンパスの最後となるイベントが10月25日(日)、開催された。午前中甲南高校の生徒を対象とする学部説明会が開かれ、午後、通常のオープンキャンパスが開かれた。知能情報学部としては、学部紹介、関先生の体験講義(Processing)、永田先生の英文ライティング学習支援システム、個別相談、KORO、来場者カウンタ、漫才ロボットの公開を行った。KOROは今回、新しいボディでの本格的なデモとなり、当研究室の学生諸君6名と、和田先生、それに田中が実施に当たった。



来場者カウンタは、もうかなり慣れ、設置も15分ほどで済むほどになった。カウンタ数は200名を超えた。今回は、午前中は甲南高校だけだったので少なく、午後には集中した。出た人の数を見ると、結構2時台、3時台も多く、夏のオープンキャンパスに比べて長時間滞在された方が多かったことがわかる。来場者カウンタは、設置の際にまだ人任せにできないが、人が来る前に出し、帰ったあとに片付けたいと意味がないことから、長時間拘束される。私自身、何のためにやっているのかわからなくなることもあるが、こういうときでないとは本格的な実験はできないし、KSCの人にも全面的に気持ちよく手伝っていただけると、何よりも、こういうときのために作ったものだから、と考えると、自ずからやらなければという気持ちにな

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況をや

吉岡一樹

10月25日のオープンキャンパスの感想です。まず午前中の屋外についてですが、石原君の「散歩」と僕の「追跡」システム二つのデモを行いました。オープンキャンパス開始の11時からKOROを動かしているのと、周囲にいた甲南高校生が「何あれ」「ロボットおもしろい」と興味を持ってくれました。追跡システムのデモを行うと周囲の人が通りすがりに「すげえ人追いかけてる」「どうなってるん」など言っていました。12時になり人通りが多くなってきたので石原君の散歩システムに交代してデモを行いました。KOROの目の前に立つとKOROがあいさつするシステムです。人通りが多いほどKOROが人にあいさつし人目を引いていました。午前のデモに関しては自分のイメージしたレベルでデモを行えたと思います。

須谷章宣

今回のOCではKOROの一般向けに初のお披露目ということで、KOROを見に来場されたお客様も少なくなく、KOROプロジェクトとして大変良い出だしだと感じられました。KOROのプログラム自体も皆完成度が良く、今後KOROは図書館に在中することになります。その際にも図書館を利用していただいている学生さんや近隣の皆さまにお見せしても楽しんでもらえることでしょうか。今後KOROプロジェクトにおいて開く1人としてKOROの機能を発展させオープンキャンパスなどで皆様にKOROを知ってもらいたいと考えております。

岡田航大

今回のオープンキャンパスでは、夏と違い屋内で計算システムを動かすことになりました。画像を扱うのが難しく、リハールの段階でも調整不足で、リハールが終わった後に時間が許す限り調整をしました。それでも当日は正直気が気じゃなく、前日なかなか寝付けませんでした。そんな心配とは裏腹に、始まってみると案外いい反応をもらえたりしたのは嬉しかったです。

栗岡亮太

私は10月25日に行われたオープンキャンパスでKinectを用いたクイズゲームのデモを行いました。

石原史也

田中研究室4回生の石原です。今回のオープンキャンパスでは私たちのこれまでの研究成果が試される場所でもあったので、この日のために、より良いものが

松田直樹

今回のオープンキャンパスも、私は図書館案内システムを展示しました。

岡田航大

今回のオープンキャンパスでは、夏と違い屋内で計算システムを動かすことになりました。画像を扱うのが難しく、リハールの段階でも調整不足で、リハールが終わった後に時間が許す限り調整をしました。それでも当日は正直気が気じゃなく、前日なかなか寝付けませんでした。そんな心配とは裏腹に、始まってみると案外いい反応をもらえたりしたのは嬉しかったです。

栗岡亮太

私は10月25日に行われたオープンキャンパスでKinectを用いたクイズゲームのデモを行いました。

3回生歓迎会

7人が田中研究室に配属

今年、田中研究室に7人の3回生が入ってきてくれました。それを祝って10月7日に3回生の歓迎会を行いました。

歓迎会では初めて会う4回生もいたことで緊張も見られましたが、すぐに場になじむことができ積極的に

4回生や院生に話しかけてくることも増えていました。3回生どうしもお互いに仲良くなっている様子も聞かれました。これから取り組んでいくであろう研究や勉強にも意欲的にとらえており、自分のやりたい研究な

ど考えている人がたくさんいるようでした。

3回生と4回生の初顔合わせになりお互いまだ遠慮や緊張が残りましたが、新田中研究室として、よい出発になりこれからも楽しみでもあります。

(石原史也)



OB塚原君、カップヌードルを大量寄贈!

田中研究室のOBである、日清食品の塚原亮介君が、このほどカップヌードルをなんと60個も送ってくれました。これは、彼の勤める日清食品が毎年、カップヌードルの誕生日(9月18日)にあわせてイベントをやっている、今年「U-37日清代表先遣面して



に1, 2個渡しており、KORoでお世話になっている図書館にも1箱20個寄贈しましたが、まだ少々余りがあります。これで、多くの学生や職員がさらにカップヌードルのファンになったものと思います。

塚原君は、卒業後も時々顔を出してくれていて、毎年賀状もくれる、大変印象深い学生の一人です。この新聞読んでいたら、また来てくださいね。卒業後も連絡をくれるのは彼だけではなく、別の卒業生は、時々「忘年会をしましょう」とか言って、誘ってくれます。こうやって、卒業後も研究室とつながりを持っているのは、とても素晴らしいことだと思います。私も、なるべく多くの卒業生とそうしたつながりを持ちながら生きていきたいと思います。

(田中雅博)

気になる便利グッズ

第6回ミラキャスト製品

第一回目から5回目まではすべて購入してよかった製品を紹介してきた。今回は純粋に私が気に入っている商品を記事にしている。それはミラキャスト製品だ。ミラキャスト製品というのは、モニタの端子に機械を取り付け、スマートフォンやタブレット、PCなどの画面をワイヤレスでモニタに映すもので、Chromecastなどが多く利用されている。利用が広がっているのはいくつか理由があり、一番はやはりスマートフォンの普及で、画面の小ささに不満を持っている人が多いところにある。YouTubeなどの動画サイトにはスマホの画面では見た気がしない層が

多いのだろう。私もどちらかというとそのタイプで、パソコンでアニメやドラマの配信サービスを利用することもあるが、結局内容が全然入ってこない。もう一つ私が気に入ったのは、このミラキャストを使うところだ。拡張できるなら机回りのケーブルを一気に削減できるし、持ち運びも簡単なので、ホテルなどの宿泊先のテレビを拡張モニタとして利用できる。タブレットの画面などを拡張できれば、ノートパソコンをわざわざ宿泊先に持ち運ぶ必要もなくなるので、荷物も軽くなる。私がこういう製品に興味を持ったのは研究室の機材のWiviaから



らで、ワイヤレスでもあそこまで映像をきれいに遅延なく映せるところに魅力を感じたからだ。しかしWiviaは非常に高いので、個人で持つにはさすがに厳しい。多少機能が悪くてもいいので安価なものを探さことにした。

どの製品が優れているのがまだわからないが、色々と調べているとマイクロソフトが出しているミラキャスト製品が非常にWindowsと相性が良く(当たり前)評判が高い。逆にChromecastなどはAndroidにしか対応しておらず、Windowsタブレットの拡張はできない。もっと安価なものはないかと調べていると生協で3千円以下のものがあつたので、気になって調べてみると、それもAndroidのみ



研究室対外予定

11月7日(土) 田中教授、「いきいきシニアライフ」(JR神戸駅まえイベント会場)にて、ラジオ体操バトル(ステージ)出演。

11月上旬 KORoを図書館入り口に常駐予定。11月28日(土) 宝塚甲南会がKORoを見学。

編集後記

田中研究室的には10月はイベントで盛り盛りで、今回の新聞はとていものが出来上がっているのではないかと思います。オープンキャンパスが終わり、一息つけるかなと思いきや、もう卒論の発表会まで3カ月程しかなく、軽く絶望しています。

10月は毎年楽しみにしているドラフト会議があり、今年もオープンキャンパス終了後に、最優秀選手の指名選手の映像をチェックしました。実はドラフトの終了日は毎年ほぼ徹夜で映像をチェックし、選手の寸評を野球が好きなお友達に話すが習慣になっていきましたが、今年オープンキャンパスがあつたので、当日にはできませんでした。ドラフト1位の選手は偶然にも私と同じ苗字の「岡田」選手でした。せっかくなのでユニフォームを購入しようと思っています。ユニフォーム絡みだと、初めて買ったユニフォームの選手が今年自由契約になってしまいました。引退するので、新天地でも応援!というわけにもいきませんでした。

これから世界的には寒いといわれる季節ですが、寒さにはめっぽう強い私としてはこれからは涼しい季節になるので、とても嬉しいです。

(岡田航大)